

## 地 勢

本圏域は、県中央よりやや北部に位置します。北は日光国立公園を背景とする雄大な高原山系に面し、西に北部山岳地帯より源を発する鬼怒川、東に箒川の清流等の大小河川と緑豊かな森林などの自然環境に恵まれ、南は平坦な田園地帯が広がり、南北に長いひし形をしております。

塩谷広域行政組合は、矢板市、さくら市、塩谷町及び高根沢町（2市2町）で構成され、圏域の総面積543.02km<sup>2</sup>は、県土の8.47%、人口116,923人は県全体の5.97%を占めております。

一方交通網は、主な幹線高速交通ネットワークとして、東北新幹線、東北自動車道があり、一般国道が3路線（4号、293号、461号）整備されています。また、鉄道網としてJR宇都宮線、JR烏山線があります。

塩谷地区広域市町村圏では、「豊かな自然と都市機能がある快適で活力ある塩谷広域圏」をめざして地域振興に取り組み、健康で活力があり、安全、快適で独創的な主体性ある地域社会づくりが期待されています。



|      | 面積(km <sup>2</sup> ) | 人口(人)   | 世帯数    |
|------|----------------------|---------|--------|
| 矢板市  | 170.46               | 31,188  | 13,231 |
| さくら市 | 125.63               | 44,090  | 16,479 |
| 塩谷町  | 176.06               | 10,483  | 4,033  |
| 高根沢町 | 70.87                | 29,247  | 12,725 |
| 合計   | 543.02               | 115,008 | 46,468 |

※令和4年4月1日現在

※住民基本台帳に基づく人口

## 沿 革

|       |     |    |   |
|-------|-----|----|---|
| 昭和40年 | 1月  | 1日 | 矢板市消防本部を設置、消防ポンプ自動車1台<br>消防職員8名採用<br>矢板市から出向者1名 |
|       | 4月  | 1日 | 消防職員6名採用し15名となる                                 |
| 昭和44年 | 3月  |    | 矢板市消防本部庁舎落成                                     |
|       | 4月  | 1日 | 消防職員4名採用  |
|       | 4月  | 8日 | 消防職員1名採用  |
| 昭和45年 | 12月 | 1日 | 消防職員1名採用  |
|       | 4月  | 1日 | 消防職員1名採用  |

### 広域消防設立の経過

昭和45年9月以降、数次にわたり関係5市町（矢板市、塩谷町、氏家町、高根沢町及び喜連川町）の長、執行部、議会、消防団長等による消防業務を共同処理するための協議を重ね、県の説明と指導を受け、途中幾多の難題を越え大筋の同意を得て昭和46年2月15日「塩谷郡市広域消防推進協議会」が発足し、政令指定の陳情、具体的な消防施設整備計画の決定をみた。

昭和46年3月政令指定の内示に伴い関係市町議会に「塩谷郡市消防組合」設立に関する議案を提出し、原案のとおり可決され、3月26日栃木県知事に申請し、昭和46年4月1日付、矢板市を中心として、塩谷町、氏家町、高根沢町及び喜連川町の1市4町をもって塩谷郡市消防組合が発足した。

消防本部は、矢板市に置き、本部1、署1の組織で職員は、矢板市からの引継ぎ職員を主力に8名の新規採用者を加えて出発した。当時は、暫定的に矢板市消防本部庁舎を本部、署として使用。消防車両、機械器具も矢板市から引き継がれた。

|       |     |     |  |
|-------|-----|-----|--|
| 昭和46年 | 5月  | 1日  | 塩谷郡市保健予防組合から1名出向                             |
|       | 8月  | 1日  | 消防職員32名採用                                    |
| 昭和47年 | 12月 | 20日 | 水槽付消防ポンプ自動車3台購入                              |
|       | 2月  | 1日  | 消防職員8名採用                                     |
|       | 2月  | 10日 | 消防職員1名採用                                     |
|       | 3月  | 1日  | 高根沢分遣所庁舎落成。水槽付消防ポンプ自動車を1台配置、職員13名配置し業務開始     |
|       | 3月  | 15日 | 救急自動車1台購入                                    |
|       | 3月  | 21日 | 氏家分遣所庁舎落成。水槽付ポンプ自動車1台、救急自動車1台配置、職員17名配置し業務開始 |
|       | 4月  | 1日  | 消防職員14名採用                                    |
|       | 4月  | 3日  | 消防職員1名採用                                     |
|       | 7月  | 1日  | 広報連絡車1台購入、氏家分遣所に配置                           |
|       | 8月  | 30日 | 救助工作車1台購入、矢板消防署に配置                           |
| 昭和47年 | 9月  | 1日  | 消防職員25名採用                                    |
|       | 10月 | 13日 | 普通消防ポンプ自動車2台購入                               |
|       | 11月 | 21日 | 救急自動車1台購入、高根沢分遣所に配置し救急業務開始                   |

|       |        |  |
|-------|--------|--|
| 昭和48年 | 12月20日 | 喜連川分遣所庁舎落成、消防ポンプ自動車1台を配置、職員13名配置し業務開始  |
|       | 2月1日   | 塩谷分遣所庁舎落成、消防ポンプ自動車1台を配置、職員13名配置し業務開始。救急自動車1台購入、矢板消防署に配置                              |
|       | 4月1日   | 消防職員13名採用、126名となる  |
|       | 4月16日  | 指令車1台購入、矢板消防署に配置、広報連絡車3台購入、塩谷、高根沢及び喜連川分遣所に配置   |
|       | 5月1日   | 救急自動車2台購入、塩谷及び喜連川分遣所に配置、救急業務開始   |
| 昭和49年 | 6月15日  | 普通消防ポンプ自動車1台購入、矢板消防署に配置  |
|       | 8月9日   | 日本道路公団から救急自動車1台貸与、東北自動車上り線矢板・宇都宮IC間救急業務開始  |
|       | 4月1日   | 消防職員8名採用、134名となる   |
|       | 6月26日  | 普通消防ポンプ自動車1台購入、氏家分遣所に配置  |
|       | 7月1日   | 化学消防ポンプ自動車1台購入、矢板消防署に配置  |
| 昭和50年 | 11月27日 | 広報連絡車1台購入、矢板消防署に配置   |
|       | 12月20日 | 東北自動車下り線矢板・西那須野IC間救急業務開始   |
|       | 4月1日   | 消防職員6名採用、139名となる   |
| 昭和52年 | 6月26日  | 日本損害保険協会から普通消防ポンプ自動車1台寄贈「矢板号」、小型動力ポンプ3台購入、塩谷、高根沢及び喜連川各分遣所に配置                         |
|       | 10月30日 | 現場指揮車1台購入、本部に配置  |
|       | 2月22日  | 連絡車1台購入、本部に配置  |
| 昭和53年 | 4月1日   | 欠員補充のため消防職員6名採用  |
|       | 10月4日  | 普通消防ポンプ自動車1台購入、高根沢分遣所に配置   |
| 昭和54年 | 4月1日   | 塩谷地区広域行政事務組合と合併し、塩谷広域行政組合消防本部となり、分遣所を分署に昇格、組織を1本部1署4分署とする。事務部局の合理化により、消防職員定数136名となる。 |
| 昭和55年 | 12月25日 | 栃木県防災行政無線を消防本部に設置  |
| 昭和56年 | 3月25日  | 矢板消防署庁舎新築  |
|       | 4月1日   | 消防吏員4名、矢板市、塩谷町、氏家町、高根沢町へ配置替え   |
| 昭和57年 | 6月8日   | 査察連絡車1台購入、本部に配置  |
|       | 6月26日  | 矢板消防署庁舎落成式挙行   |
|       | 6月30日  | 矢板消防署倉庫、整備庫等竣工   |
|       | 9月10日  | 救急自動車1台、日本消防協会より寄贈され矢板消防署に配置   |
|       | 2月26日  | 事務部局の合理化により、消防職員定数130名となる  |

|       |        |   |
|-------|--------|---|
| 昭和58年 | 3月5日   | 消防本部指令車1台更新、氏家分署広報連絡車1台更新                     |
|       | 4月1日   | 機構改革により、事務部局の合理化を図り、窓口事務の変更                   |
|       | 8月19日  | 救急自動車1台、日本消防協会より寄贈され、氏家分署に更新配置                |
|       | 8月31日  | 水槽付消防ポンプ自動車1台購入、矢板消防署に更新配置                    |
| 昭和59年 | 12月1日  | 消防本部庁舎改築、複合事務庁舎となる                            |
|       | 3月31日  | 塩谷、高根沢及び喜連川分署の広報連絡車更新                         |
|       | 9月28日  | 水槽付消防ポンプ自動車1台購入、高根沢分署に更新配置                    |
| 昭和60年 | 3月22日  | 塩谷分署救急自動車更新                                   |
|       | 7月1日   | 矢板消防署広報連絡車更新                                  |
|       | 10月1日  | 水槽付消防ポンプ自動車1台購入、氏家分署に更新配置                     |
| 昭和61年 | 7月23日  | 救助用ゴムボート1艇購入、矢板消防署に配備                         |
|       | 9月25日  | 消防ポンプ自動車2台購入、塩谷及び喜連川分署に更新配置                   |
| 昭和62年 | 2月10日  | 救急自動車1台、日本損害保険協会より寄贈され矢板消防署に更新配置              |
|       | 2月14日  | 本部連絡車更新                                       |
|       | 4月1日   | 消防職員5名採用                                      |
|       | 8月22日  | 普通消防ポンプ自動車2台購入、矢板消防署及び氏家分署に更新配置               |
| 昭和63年 | 4月1日   | 消防吏員4名、矢板市、塩谷町、氏家町及び高根沢町へ配置替、消防職員4名採用         |
| 平成元年  | 2月2日   | 救助工作車1台購入、矢板消防署に配置し特別救助隊編成                    |
|       | 4月1日   | 消防吏員1名、喜連川町へ配置替<br>消防職員2名採用                   |
| 平成2年  | 4月1日   | 消防吏員1名、高根沢町へ配置替<br>組合事務局より1名出向                |
| 平成3年  | 4月1日   | 消防吏員2名、矢板市及び塩谷町へ配置替<br>組合事務局へ1名出向<br>消防職員3名採用 |
|       | 10月18日 | 救急自動車1台購入、矢板消防署に更新配置                          |
|       | 12月20日 | 普通消防ポンプ自動車1台購入、高根沢分署に更新配置                     |
|       | 1月28日  | 救急自動車1台山之内製薬(株)より寄贈、高根沢分署に更新配置                |
| 平成4年  | 4月1日   | 消防吏員1名、氏家町へ配置替、1名退職<br>消防吏員2名採用               |
|       | 11月16日 | 化学車1台購入、矢板消防署に更新配置                            |
| 平成5年  | 3月17日  | 広報車1台購入、消防本部予防課に更新配置                          |
|       | 4月1日   | 消防吏員1名、喜連川町へ配置替                               |

|          |             |   |
|----------|-------------|---|
|          |             | 消防吏員 3 名採用  |
|          | 1 0 月 1 5 日 | 消防吏員 1 名退職  |
|          | 1 2 月 1 7 日 | 広報車 1 台購入、氏家分署に更新配置   |
| 平成 6 年   | 1 2 月 2 6 日 | 資機材運搬車 1 台購入、矢板消防署に配置   |
|          | 3 月 3 1 日   | 消防吏員 1 名退職  |
|          | 4 月 1 日     | 消防吏員 1 名、塩谷町へ配置替<br>消防吏員 4 名採用<br>組合事務局 1 名出向   |
|          | 5 月 1 6 日   | 消防吏員 1 名退職  |
|          | 7 月 2 0 日   | 防火号 1 台、日本防火協会より寄贈、矢板消防署に配置   |
|          | 9 月 2 8 日   | 広報車 1 台購入、塩谷分署に更新配置   |
| 平成 7 年   | 1 1 月 2 9 日 | 山林火災用コンテナ購入、矢板消防署に配置  |
|          | 2 月 2 7 日   | 救急車 1 台購入、氏家分署に配置   |
|          | 4 月 1 日     | 消防吏員 1 名採用  |
|          | 9 月 2 8 日   | 広報車 2 台購入、高根沢及び喜連川分署に更新配置   |
| 平成 8 年   | 1 1 月 9 日   | 広報車 1 台購入、塩谷分署に更新配置   |
|          | 2 月 2 9 日   | 救急車 1 台購入、喜連川分署に更新配置  |
|          | 3 月 2 6 日   | 水難救助用コンテナ購入、矢板消防署に配置  |
| 平成 9 年   | 1 1 月 1 日   | 広報車 1 台購入、矢板消防署に更新配置  |
|          | 1 1 月 7 日   | 連絡車 1 台購入、消防本部に更新配置   |
|          | 1 2 月 1 8 日 | 救急車 1 台購入、塩谷分署に更新配置   |
|          | 4 月 1 日     | 分署を署に昇格、組織を 1 本部 5 署とする<br>消防職員定数 1 5 0 名となる<br>消防吏員 4 名採用<br>消防学校へ 1 名派遣<br>組合事務局へ 1 名出向 |
|          | 6 月 3 0 日   | 事務吏員 1 名退職  |
| 平成 1 0 年 | 1 2 月 1 6 日 | 化学車 1 台購入、氏家消防署に配置<br>水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入、高根沢消防署に更新配置                                       |
|          | 3 月 2 0 日   | 喜連川消防署庁舎新築、移転して業務開始   |
|          | 4 月 1 日     | 消防吏員 5 名採用<br>栃木県消防防災航空隊へ 1 名派遣<br>組合事務局へ 3 名派遣<br>組合事務局から 1 名出向                          |
|          | 1 1 月 1 8 日 | 救助工作車 1 台購入、高根沢消防署に配置   |
| 平成 1 1 年 | 3 月 2 4 日   | 高規格救急車 1 台日本損害保険協会から寄贈、矢板消防署に更新配置   |
|          | 3 月 3 1 日   | 消防吏員 1 名退職  |
| 平成 1 2 年 | 4 月 1 日     | 消防吏員 4 名採用<br>組合事務局へ 1 名出向<br>矢板市へ 1 名派遣  |
|          | 4 月 1 日     | 消防吏員 5 名採用<br>栃木県消防防災課へ 1 名派遣   |

|       |        |  |
|-------|--------|--|
|       |        | 組合事務局へ1名派遣   |
|       | 10月31日 | 消防ポンプ自動車2台購入、塩谷及び喜連川消防署に更新配置   |
| 平成13年 | 3月16日  | 氏家消防署庁舎新築、移転して業務開始   |
|       | 3月30日  | 液化石油ガス設備工事届出受理事務開始   |
|       | 3月31日  | 消防吏員2名退職   |
|       | 4月1日   | 消防吏員5名採用<br>矢板市から1名出向<br>組合事務局へ1名出向<br>組合事務局へ1名派遣<br>栃木県消防防災航空隊へ1名派遣 |
| 平成14年 | 2月6日   | 消防吏員1名退職   |
|       | 2月25日  | 消防ポンプ自動車1台購入、氏家消防署に更新配置  |
|       | 3月1日   | 消防吏員1名採用   |
|       | 3月31日  | 消防吏員4名退職   |
|       | 4月1日   | 組織改編により警防課を設置し、3名を配置<br>消防吏員5名採用<br>矢板市へ1名出向<br>矢板市へ1名派遣             |
|       | 6月2日   | 消防吏員1名退職   |
|       | 6月25日  | 高根沢消防署庁舎新築、業務開始  |
| 平成15年 | 2月19日  | 消防ポンプ自動車1台購入、矢板消防署に更新配置  |
|       | 3月25日  | 塩谷消防署庁舎新築、業務開始   |
|       | 3月27日  | 高規格救急自動車1台購入、高根沢消防署に更新配置   |
|       | 3月31日  | 消防吏員5名退職   |
|       | 4月1日   | 消防吏員6名採用<br>矢板市へ1名派遣<br>組合事務局へ1名派遣                                   |
|       | 7月25日  | 現場指揮車1台購入、消防本部に配置更新  |
| 平成16年 | 3月31日  | 消防吏員3名退職   |
|       | 4月1日   | 消防吏員4名採用<br>組合事務局から1名出向<br>組合事務局へ3名出向<br>栃木県消防防災航空隊へ1名派遣             |
|       | 5月11日  | 軽連絡車購入、消防本部に配置   |
|       | 11月22日 | 災害対応特殊救急自動車1台購入、氏家消防署に更新配置   |
| 平成17年 | 3月1日   | 矢板市より緊急消防自動二輪車3台贈与、矢板消防署に配置  |
|       | 3月28日  | 氏家町と喜連川町が新設合併し、さくら市となる   |
|       | 3月31日  | 消防吏員3名退職   |
|       | 4月1日   | 消防吏員4名採用   |
|       | 4月30日  | 消防吏員1名退職   |

|         |          |  |
|---------|----------|--|
|         | 1 2月 8日  | 高規格救急自動車 1 台購入、塩谷消防署に更新配置  |
|         | 1 2月 28日 | 高規格救急自動車 1 台日本損害保険協会から寄贈、喜連川消防署に更新配置   |
| 平成 18 年 | 2月 28日   | 消防吏員 1 名退職   |
|         | 3月 1日    | 消防吏員 1 名採用   |
|         | 3月 31日   | 消防吏員 3 名退職   |
|         | 4月 1日    | 消防吏員 3 名採用   |
|         | 8月 18日   | 広報車 1 台購入、消防本部予防課に更新配置   |
|         | 9月 3日    | 栃木県・矢板市総合防災訓練実施  |
|         | 1 1月 10日 | 災害対応特殊消防ポンプ自動車 1 台購入、高根沢消防署に更新配置   |
| 平成 19 年 | 3月 31日   | 消防吏員 9 名退職   |
|         | 4月 1日    | 消防吏員 8 名採用<br>栃木県消防防災航空隊へ 1 名派遣  |
|         | 8月 13日   | 訓練指導車（けすゾウくん）（財）日本宝くじ協会より寄贈、消防本部に配置  |
| 平成 20 年 | 3月 31日   | 消防吏員 11 名退職  |
|         | 4月 1日    | 消防吏員 9 名採用<br>組合事務局から 1 名出向  |
|         | 1 2月 9日  | 高規格救急車 1 台購入、矢板消防署に更新配置  |
| 平成 21 年 | 3月 31日   | 消防吏員 4 名退職   |
|         | 4月 1日    | 組織改編により通信指令課を設置し、10 名を配置（専従）<br>消防吏員 9 名採用<br>栃木県消防学校へ 1 名派遣<br>栃木県消防広域化協議会へ 1 名派遣 |
|         | 6月 1日    | 消防本部・矢板消防署庁舎新築移転、業務開始<br>通信指令設備を導入、消防本部に設置、通信指令業務を開始                               |
| 平成 22 年 | 3月 25日   | 救助工作車 1 台購入、矢板消防署に更新配置   |
|         | 3月 31日   | 消防吏員 11 名退職  |
|         | 4月 1日    | 消防吏員 11 名採用  |
|         | 1 2月 17日 | 高規格救急車 1 台購入、高根沢消防署に更新配置   |
| 平成 23 年 | 3月 31日   | 消防吏員 13 名退職  |
|         | 4月 1日    | 消防吏員 12 名採用  |
|         | 1 2月 15日 | 災害対応特殊救急自動車 1 台購入、氏家消防署に更新配置   |
| 平成 24 年 | 2月 20日   | 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車 I 型 1 台購入、矢板消防署に更新配置  |
|         | 3月 31日   | 消防吏員 13 名、事務吏員 1 名退職   |
|         | 4月 1日    | 機構改革により係制を廃止、担当制となる。   |
|         | 4月 1日    | 消防吏員 12 名採用  |
|         | 1 1月 28日 | 大田原地区広域消防組合、黒磯那須消防組合、南那須地区広域行政事務組合及び塩谷広域行政組合の消防指令事務の共同処理に関する協定締結                   |

|       |        |  |
|-------|--------|--|
|       | 12月13日 | 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）1台購入、高根沢消防署に更新配置   |
|       | 1月31日  | 消防庁所有の緊急消防援助隊の活動に係る国有財産等の無償使用人員輸送車1台矢板消防署配置  |
| 平成25年 | 2月20日  | 支援車（Ⅱ型）1台購入、矢板消防署に更新配置   |
|       | 3月31日  | 消防吏員4名退職   |
|       | 4月1日   | 消防職員定数196名となる<br>消防吏員9名採用  |
|       | 12月9日  | 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-B型）1台購入、塩谷消防署に更新配置  |
| 平成26年 | 3月31日  | 消防吏員7名退職   |
|       | 4月1日   | 消防吏員9名採用、1名再任用   |
|       | 11月14日 | 広報車1台購入、氏家消防署に更新配置   |
|       | 12月11日 | 高規格救急車1台購入、喜連川消防署に更新配置   |
| 平成27年 | 3月31日  | 消防吏員5名退職   |
|       | 4月1日   | 消防吏員11名採用<br>栃木県消防防災航空隊へ1名派遣<br>栃木県消防広域化協議会へ1名派遣   |
|       | 9月30日  | 高規格救急車1台購入、塩谷消防署に更新配置<br>広報車3台購入、塩谷消防署、高根沢消防署、喜連川消防署に更新配置  |
|       | 10月1日  | 那須地区消防組合、南那須地区広域行政事務組合及び塩谷広域行政組合間において消防通信指令に関する事務を共同して管理執行するため、栃木北東地区消防通信指令事務協議会を設立。これに伴い、当該協議会事務に従事する職員として当消防本部より8名を選任し、栃木北東地区消防指令センター（那須地区消防本部庁舎内）において、119番通報の受信、出動指令等の共同運用を開始する。併せて消防救急デジタル無線（活動波）の運用を開始する。 |
| 平成28年 | 3月31日  | 消防吏員5名退職   |
|       | 4月1日   | 組織改編により通信指令課を廃止<br>消防吏員10名採用<br>消防救急デジタル無線（共通波）の栃木県内全消防本部での共同運用開始  |
|       | 9月30日  | 高規格救急車1台購入、矢板消防署に更新配置  |
| 平成29年 | 3月1日   | 消防吏員1名採用   |
|       | 3月2日   | 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）1台購入、氏家消防署に更新配置  |
|       | 3月31日  | 消防吏員5名退職   |
|       | 4月1日   | 消防吏員9名採用   |
| 平成30年 | 2月26日  | 救助工作車1台購入、高根沢消防署に更新配置  |
|       | 4月1日   | 消防吏員7名採用<br>栃木県消防防災課へ1名派遣  |
|       | 9月13日  | 高規格救急車1台購入、高根沢消防署に更新配置   |



|       |       |   |
|-------|-------|---|
| 平成31年 | 1月17日 | 広報車1台購入、矢板消防署に更新配置                                    |
|       |       | ボートトレーラー1台購入、矢板消防署に配置                                 |
|       | 3月31日 | 消防吏員5名退職  |
| 令和2年  | 4月1日  | 消防吏員7名採用  |
|       | 2月19日 | 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－B型）1台購入、喜連川消防署に更新配置                    |
|       | 4月1日  | 消防吏員7名採用<br>栃木県消防学校へ1名派遣<br>組合事務局から1名出向<br>組合事務局へ1名出向 |
| 令和3年  | 1月25日 | 高規格救急車1台購入、氏家消防署に更新配置                                 |
|       | 2月14日 | 査察車1台購入、消防本部予防課に更新配置                                  |
|       | 3月22日 | 消防ポンプ自動車1台購入、氏家消防署に更新配置                               |
| 令和4年  | 4月1日  | 消防吏員8名採用  |
|       | 3月31日 | 消防吏員2名退職  |
|       | 4月1日  | 消防吏員9名採用  |